

90th Anniversary

東洋アルミニウム90周年
特別対談

フリーアナウンサー

住吉 美紀

SUMIYOSHI MIKI

楠本 薫

KUSUMOTO KAORU

東洋アルミニウム株式会社代表取締役社長COO

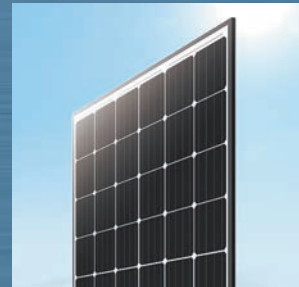
4つの改革推進急ぐ
住吉 2020年4月から、経営フラットフォーム改革プロジェクト（MXプロジェクト）を始めましたね。
楠本 再び当社の業績を巡航速度に上げ、従業員が生きて働けるようにと考え、始めました。
住吉 何を目指しますか。
楠本 目指す姿は3つです。1つ目は全社員が顧客にとってベストとは何かを考え、その美現に全力を尽くす。私どもの原点である顧客志向を一番に挙げています。



▲ 水をはじく蓋材「トーヤルロータス」

る時にくつきにくくなりました。伸びている製品です。

2つ目は生産性向上です。工場だけでなく、営業やバックオフィスも含みます。社員、会社、株主にとって重要であることを理解し、実践していくことです。3つ目はミッション・ビジョンを軸に、高いモチベーションを持って従業員の働く環境をつくることです。
住吉 MXプロジェクトで進める4つの改革とは何ですか。
楠本 新たな経営理念である「ミッション・ビジョン・バリュー（MV）」の策定、組織改革、人事制度改革、コミュニケーションシステム改革です。組織は今まで縦割りで上意下達でしたが、可能な限りフラットにして意思疎通や意思決定を早くするようにしました。マネジメント、ユニット、チームと3つの階層に簡素化したのです。
4月から、この体制で動いています。4〜5層あった組織の階層を減らし、各ユニット、各チームに責任を下ろし、自律的に動けるようにしました。規律に対し自律を重視し、自分たちで考えられるようにという意味もあります。
住吉 どのような未来をつくらうとしていますか。



▲ 超軽量の太陽光発電パネル「Haneモジュール」

楠本 顧客軸を一番大切にしていきたいです。お客様のご希望、またはリクエストに応え、期待を超える提案、ソリューションができる会社になりたいです。90周年も100周年への通過点であり、企業として継続していくためには、お客様にとつて良きパートナーになるようなソリューションカンパニーを目指したいと考えています。
アルミは「電気伝導性」と言われ、製造工程にエネルギーが必要な素材です。当社グループにとってSDGs（国連の持続可能な開発目標）の観点から生産時の環境負荷は大きな課題でした。CSR（企業の社会的責任）の重要課題の中で、各事業部にSDGs貢献製品を設定し、その売上高を伸ばしていく長期目標を掲げています。

住吉 当社に入って製品が陳列された展示ケースを拝見したら、生活に欠かせない食品や薬の包装材料、化粧品に使われているのを知り、興味が湧きました。
楠本 当社は、カナダのアルミカンと住友グループの会社が折半出資し、1931年にできた会社です。当時は住友アルミニウムと名付けられていました。第2次大戦後、財閥解体のため住友という名前が使えなくなり、東洋アルミニウムに変えたのです。その後、住友の名前に戻すことができました。

暮らしから宇宙まで

家庭用アルミホイルからロケット燃料まで幅広いアルミニウム関連製品を製造する東洋アルミニウム（大阪市）が4月7日、創立90周年を迎えた。「未来を創る、私が創る、みんなで創る」を掲げ、事業領域を拡大し、100周年に向け経営改革を加速している。楠本薫代表取締役社長COO（最高執行責任者）にフリーアナウンサーの住吉美紀さんが聞いた。



▲ 見る角度によって色が変わるアルミニウム顔料「クロマシャイン」

が、東洋アルミの名に愛着を感じて継続しています。私が入社したのは1978年です。
住吉 入社当時は需要が伸びていたのではないですか。
楠本 たばこ包装用から食品包装用や医薬品包装用などに用途が広がりました。アルミ箔はアルミニウムの地金を圧延して、圧延という工程で製造します。厚さ0.2mmより薄い物をアルミ箔と呼び、調理用品の当社ブランド、サンホイルは0.01mm程度の厚さです。
住吉 高い技術力が必要な分野で力を発揮していますね。現在のビジネスの概要を教えてください。
楠本 アルミ箔に続く柱がパウダー・ペースト事業です。アルミの

地金を溶かし、霧吹き状にして、小さな粒子を作ります。これがパウダーです。燃えやすく爆発しやすく、花火やロケット燃料に使われます。このビジネスはB to B（企業間取引）で、お客様の目に触れることは非常に少ないです。
アルミパウダーをボールミル（粉砕機）の一種でミネラルオイルと合わせ、フレック状にしたのがペーストです。一番多い用途は自動車の外装に使われるメタリック塗料です。
3つ目の柱が日用品でB to C（消費者向け販売）の事業です。レンジ回りの汚れを防ぐパネルなどを手掛けています。アルミ箔を中心に作ってきましたが、現在は紙製品も展開しています。
住吉 新製品を教えてください。
楠本 例えば、アルミ箔でヨーグルトの蓋の材料「トーヤルロータス」という製品を開発しました。トーヤルは当社の通称「ロータス」は蓮の葉の意味です。蓮の葉は水滴を落とす玉の状態にはじきますが、同じ機能を追加しました。ヨーグルトが蓋の裏にべつと付かず、逆さにして動かしても蓋を開け

オドロキのアルミを創造し、世界中に届けます



箔事業

独自の技術とノウハウを基に独創的なアルミ箔製品を開発している。軽く高性能なアルミの特性を生かし、食品や医薬品の包装材、日用品、樹脂やフィルムとの複合化によるシールド材などだ。多くの特許を取得した。



パウダー・ペースト事業

アルミを微細な粉末にして、箔と異なる素材の可能性を広げ、化学品や電子材料、自動車、航空宇宙分野の発展に貢献している。自動車の外装塗料やロケット燃料などで、国内外に評価されるオンリーワン技術を持つ。



日用品事業

サンホイルなどのブランドで親しまれる身近な生活用品、食品用のアルミ箔容器、紙製容器を製造・販売している。紙製の縁巻き容器は独自技術だ。製品を通じて海洋プラスチックごみ問題の解決にも貢献している。



新事業

新事業創造部は超軽量の太陽光発電パネル「Hane（はね）モジュール」を開発した。ビルや施設の壁面にも設置しやすい。先端技術本部は筋肉が動く時に流れる微弱な電気信号を利用して動かす義手の電池を開発した。



東洋ALUMINUM

<https://www.toyal.co.jp/>